

# 竜の眼

## 編集方針

- ①会員の自由かつ達な意見交換の場
- ②オンブズマン活動の発展に貢献
- ③おもしろく、分かりやすく、役に立つ

第4号 2002.4.10発行  
仙台市民オンブズマン・タイアップグループ  
仙台市青葉区中央4-3-28朝市ビル3F  
宮城地域自治研究所内  
TEL022(227)9900 FAX022(227)3267  
<http://www.hitplaza.netspace.or.jp/doc/omb/index.htm>  
e-mail: s-ombuds@zeus.netspace.or.jp



はじめての春

撮影:三塚芳徳



2月例会・合同新年会風景

①会員の自由かつ達な意見交換の場  
②オンブズマン活動の発展に貢献  
③おもしろく、分かりやすく、役に立つ

タイアップグループに参加するようになつてすでに七、八年くらいたつたと思ひます。会費だけは毎年払っていましたが、ここ二、四年は、ほとんど例会・イベントなどに参加することができませんでした。自分の年齢もあるのか、四十歳を過ぎてから急にいろんな団体（ちなみには歯科医です）の雑用をしなくてはならなくなつたり、親の介護などもあり、なかなか出席できませんでした。昨年そ

れらも一段落し、さて久しぶりに顔を出させてもらおうかなと、二月五日のタイアップグループの例会・合同新年会に出席してきました（本当は三塚さんに誘われたのです）。急に宴会の乾杯のあいさつなどをやらされたりし、だいぶあわてましたが、以前からのみなさんに変わらぬ接していただき、「ああ、出席してよかつたな、皆さんますます元気にバリバ

り頑張つているな」と感激した次第で

「竜の眼」では知つていたのですが、二人の若手（おそらく）弁護士の先生方が最近のオンブズマンの活動を報告されていて、若い方（おそらく）の参加もどんどん増えています活性化しているのだなということでした。新年会も多数の方が参加して盛況でした。

考えてみると、「オンブズマン」という単語を初めて知つたのは十数年前、テレビかなで北欧で活動している珍しい団体くらいの感じでした。最初聞いたときには「足腰の弱い方をおんぶしてあげる新手のボランティア団体かな」と思っていたのが、懐かしく思い出されます。現在の日本では、数年前の「官官接待」が流行語大賞トップテンに入り、社会にくくなつてきているとは思つたのですが、着実に成果を上げていくものと期待しています。加えていつもくなつてきていることは思つたが、着実に成果を上げていくものと期待しています。加えていつも増えてほしいものです。もちろん、会費が、増えるといふことも考えられます。それ以上にオンブズマンがどんな考え方でどんな活動をしているかと、いふことを、いま以上に多くの方に知つていただきたいと思うからです。皆さんも親しい方に一言かけてみませんか。

リ頑張つているな」と感激した次第です。久しぶりに参加してまず感じたのは「竜の眼」では知つていたのですが、二人の若手（おそらく）弁護士の先生方が最近のオンブズマンの活動を報告されていて、若い方（おそらく）の参加もどんどん増えています活性化しているのだなということでした。新年会も多数の方が参加して盛況でした。

このたび、タイアップグループの一員となりました垣田治彦と申します。大胆どうかよろしくお願ひ致します。大胆にも、入会早々いきなり新年会で室内楽を演奏してしまいました。お聞き苦しい点もあつたと思いますが、どうかアマチュアということでご容赦ください。

## タイアップつていいところだから

新沼康弘



この欄は皆さんの意見  
交換のスペースです。  
投稿をお待ちしています。

## 新年会で「公演」デビュー

垣田治彦

私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュアということでご容赦ください。私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュアということでご容赦ください。私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュアということでご容赦ください。私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュアということでご容赦ください。私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュアということでご容赦ください。私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュアということでご容赦ください。私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュアということでご容赦ください。私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュアということでご容赦ください。私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュアということでご容赦ください。私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュアということでご容赦ください。私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュアということでご容赦ください。私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュアということでご容赦ください。私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュアということでご容赦ください。私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュアということでご容赦ください。私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュアということでご容赦ください。私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュアということでご容赦ください。私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュアということでご容赦ください。私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュアということでご容赦ください。私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュアということでご容赦ください。私は大学のオケでチエロを始め、以来二十数年間、何とか今まで続けていたのが、懐かしく思い出されます。アマチュア」ということばの溢れる中で人間は、果たして『金』という怪物をどれだけ征服していくのだろうか？ オンブズマンへの期待がますます高まるのである。

## □桜を見て考えたこと

大野よし

## 第7回総会のご案内

2002年7月6日(土)  
かんぽヘルスプラザ仙台  
(仙台市青葉区上杉3-2-7)

13:30~ オンブズマン総会  
15:30~ タイアップグループ総会  
16:30~ 懇親会

次回例会は6月4日(火)

午後6時  
30分より

会場：宮城地域自治研究所  
廟市ビル3階

※オンブズマンが最近の活動報告します。  
おいしい料理とお酒も待っています。  
(なお例会は偶数月の第一火曜日です)

# 住民訴訟制度の改正に寄せて

仙台市民オンブズマン 日出 雄平



この人に聞く

これって

にぎやかな国会の騒動の影で、地方自治の根幹を揺るがす一つの法律改正が成立了。

第二六次地方制度調査会の答申を基とした地方自治法の一部改正案がを国会で成立したのである。

この法案の最大の問題点は、住民訴訟制度の改定である。

その大きな特徴点としては、知事や市町村長及び職員（以下当該職員）などが違法な公金の支出などを行った場合、或いは公共事業への入札参加企業（以下相手方企業）

が談合によって不正に公金を得た場合などに、住民は自治体に代位して、当該職員及び相手方企業に対し、不正に得た利益を自

治体に返還させる、或いは当該職員個人の責任で自治体に損害を賠償させる訴訟（代位請求）を行うことが可能な点である。唯

しかし、改正では、これらの最も重要な部分が削除され、住民は今まで訴訟外の立場にあった自治体を相手として、自治体が当該職員等に対し損害賠償等を請求することを求める訴訟（第一次訴訟）を提起出来るだけとなり、住民側の勝訴が確定した場合、敗訴した自治体が第一次訴訟判決を根拠として当該職員個人及び相手方企業に対し損害賠償等を求める訴訟（第二次訴訟）を提起するという二段構えの複雑な制度に改正された。

この新しい制度には住民自治に関わる基本的な問題が潜んでいる。

第一に、新制度では、損害を受けた自治体が被告として登場し、加害者である当該職員及び相手方企業を弁護する立場となり、被害者同士が正面から争う奇妙な関係となる。しかも、自治体が被告になることは訴

訟費用が全て税金で賄われるこことを意味し、住民が負担した税金を加害者の弁護のために使用されるという本末転倒した事態が生まる。第二には、損害回復の最終決着までに、一段階の訴訟を経ることは、最大六つの裁判が予定され、解決に長時間を要します。

訴訟経済に反する。特に、第一次訴訟で住民が勝訴しても、当該職員等から取消訴訟が提起された場合には第二次訴訟の手続きを中止しなければならず解決が著しく遅延する恐れが強い。第三には、住民は第二次訴訟に一切関わる事が出来ず、第一次訴訟の実効性に疑問が生じる事である。

例えば、第一次訴訟で確定した賠償等の金額を下回る和解が為されるなど、馴れ合ひ訴訟の危険性が高いことがあげられる。

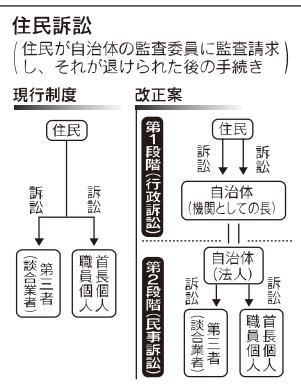
今次の改正の背景には、「多額の訴訟費用を負担し、退職後も裁判が続く。職務上のことで個人責任を追求されるのは辛い。」ま

た、「政策の当否を問う訴訟が多く、策劃が萎縮する。」との声がある。

しかし、住民は訴訟に係る時間と費用を全て個人の負担で賄い、勝訴したところで私的な利益を得る訳でもなく、住民全体の利益を求めていた事を忘れてはならない。

また、首長等が職務上の責務を全うするためには、現行住民訴訟制度が持つ緊張感程度は当然ではないだろうか。

地方自治の充実には、現行の住民監視機能の存在が最低限必要であり、早期に国会での再改正を強く求めたい。



## オンブズマンの横顔⑤ 島 和雄 歯科医師



仙台市民オンブズマンの副代表、本職は歯医者さんです。開業して25年、現在は青葉区一番町2丁目で診療をつづけています。受付では笑顔のとてもすてきなパートナーが迎えてくれますよ。

福祉問題にも精力的に取り組んでいらっしゃいます。

A Q

オンブズマンの活動で印象的だったことは? A、印象的といってよいかどうかわかりませんが、毎月の例会の進め方をあげることがでます。いくつかの重要議題討議後、その後ほかのテーマについて料理と酒を楽しみながら討議する。法的手段の多いオンブズマンの活動のなかで、私のような素人でも参加でき、しかもその中からすばらしいアイデアが生まれ出される。これこそ現代のシンポジオムと言える場となつてきました。

Q 本職であります。具体的な事例を挙げ、本質的な問題をクローズアップしていく手法もこの討議があつてこそ思います。

A Q

福祉問題の活動を教えてください A、福祉については、もつか自治研の福祉プロジェクトチームの中勉強中です。医療・保健についても言えることですが、依存やバターナリズムの福祉では、主役の市民の満足も発展も期待できないと思います。政策決定(意思決定)過程を明らかにする活動が必要ではないかと考えます。

Q 歯科医師になつた理由と、歯の健康について

Q 歯科医師になつた理由と、歯の健康について A、もともと機械工学に興味がありました。考え方としては、歯もからだの一部であります。あるからには、歯だけ歯でいられようがないこと、したがつて歯の健康は食を通しての全身の健康と繋がなければならぬと言つもので。

Q 歯科医師にならなかつたらどんな職業に就いていましたか?

Q 歯科医師にならなかつたらどんな職業に就いていましたか? A、もともと機械工学に興味がありました。考え方としては、歯もからだの一部であります。あるからには、歯だけ歯でいられようがないこと、したがつて歯の健康は食を通しての全身の健康と繋がなければならぬと言つもので。

Q ての先生の考えは? A、歯科大学在学中の兄が事故で亡くなり、その遺志を継いでという説ではないのですが、高邁な精神などないまま歯科医師になります。その後、大阪の片山恒夫博士にお会いし、その薦めを得て現在に至つております。

Q お問い合わせは? A、お問い合わせは、宮城地域自治研究所所長があります。その研究所で、昨年還暦を迎えた氏にお祝いとして還暦

## 高橋輝雄オンブズマン初代代表の「高橋流海外見聞録」が

### 旅の味わい方に

オンブズマンスポット

高橋輝雄オンブズマン初代代表の「高橋流海外見聞録」が

旅の味わい方になりました

出版の話がもちあがりました。それなら

オントブズマン初代代表高橋輝雄氏が、このほど本を出版されました。この本の編集者でもあり、タイアップの会員でもある東北工大の吉田旺弘先生から「竜の眼」に「ぜひとも本の紹介を!」と推薦文が届きましたので、このコーナーで紹介します。

高橋輝雄氏が「わたしの旅の味わい方」を著しました。これまでに旅した海外九ヶ所の「高橋流」海外見聞録ですが、その発行までの経緯がおもしろいのです。

氏のもうひとつ顔に、宮城地域自治研究所所長があります。その研究所で、昨年還暦を迎えた氏にお祝いとして還暦



高橋輝雄著

頃価は一五〇〇円です。お問い合わせは、  
宮城地域自治研究所まで。TEL 〇二二二(二六)五〇二九

出版の話がもちあがりました。それなら  
旅の話がいいと本人も乗りました。そ  
れ以上切ることは難しいという著者の  
意向を尊重しました。そこで中見出しを  
たくさん入れ、写真を多く使う工夫をして  
まとめあげました。  
日常的に氏の博学多才ぶりには感心させ  
られているのですが、この本を読んで  
あらためてそのことを感じました。「高  
橋流」旅の味わい方は、よく歩き回るこ  
とと飲み物・食べ物に対する高い関心に  
見られます。朝起きるとホテルを飛び出  
してまち中を歩き回る。市場を探して飛  
び込む。どこでもたいへん精力的です。  
飲食物に対しては関心を払うだけではな  
く、よく飲みよく食べたようです。  
一九八九年の旅がイスラエルで、昨年  
行ったハワイでは、あの同時多発テロ事  
件で足止めされたという因縁めいた話も  
あります。

その文章の洒脱さもあって、装丁も含  
めてなかなか洒落たものに仕上がったと  
編集を手伝つたものとして自負していま  
す。ご一読をお薦めします。